



### 高齢者に免許返納だけでは解決しない…か？

高齢者による交通事故が多発し、運転免許証の返納が広がっている。

しかし、免許証の返納は生活の足がなくなることに直結している。全国の自治体では、電車やバスなどの割引サービスなどを実施したり、足代代わりに乗合車や移動スーパーなど、高齢者の生活を支える新たな事業や取り組みがされてきているが、このように返納すれば良いという問題なのでしょうか？

超高齢化社会が進展し、「人生100年」と言われる中、若者は車離れし、運転免許証を持っている若者たちは少ない。



高齢者の事故で「ブレーキとアクセルを踏み間違えた」という事故原因が最近多発している。保育園児達が信号を待っている列に車が突っ込み幼い命が亡くなってしまった。ブレーキ痕はなく、高齢者ドライバーによる「ブレーキとアクセルの踏み間違い」は記憶に新しい。

高齢者の特徴として、つい最近のことは忘れてしまうが、昔取った杵柄の長期記憶はある。

昔の車は、鍵をささないでエンジンは掛からないが、今の車は、ボタン一つでエンジンが掛かる。また、ギアを切り替える「マニュアル車」で免許を取得した高齢者も、今ではほぼ「オートマチック車」となり、運転も簡単になってきている。しかし、逆にこの便利な機能の変化についていけず、ちょっとしたハプニングでもパニック状態になることがある。

更に、年をとると判断力もだが、身体が思うように動かなくなってくる。私も「ケアホーム希望」の送迎車を新車にしたばかりの頃、赤信号で停車した際に、アイドリングストップ機能のことを知らず、エンジンが停止した時は、恥ずかしながら、軽いパニックになった。エンジンを止めたこと勘違いをした私は、後方の車に「エンジンが止まってしまっ…」と、慌てて謝ったことがあった。

現在、75歳以上の運転免許証更新時には、認知症検査が行われているが、認知機能の低下だけではなく、運転技術や身体機能の確認が必要ではないだろうか。高齢になればなるほど身体機能の変化が年を重ねるごとに大きくなり、持病等があれば、なおのこと内服薬の副作用も大きく、十分な注意が必要となる。

高齢になり、重大な交通事故を起こし、残り少ない人生を交通刑務所で迎えるようになり、また被害者の人生を一瞬にして取り返しのつかないものにしてしまうのか、高齢者のみでなく運転するすべての人は、考えるべきである。

# 消防避難訓練実施



消防隊員の皆様！  
ご協力ありがとうございました！



私たち無事  
避難完了しました！

## のぞみ 希望菜園

今年の希望 (のぞみ) 菜園は 楽しみがいっぱい！



枝豆 成長中！

白ナスもいいけど...  
枝豆ができれば  
一緒にビールが飲みたいな〜

アイコも立派に  
育ってるわね！



## のぞみ 希望 日誌

私は、6月2日に『還暦』を迎えました。  
赤いちゃんちゃんこに、赤い帽子をみんなで  
買ってきて、祝ってくれました。

私が幼かった頃、60歳の人を見ると「年寄りだなあ」  
と思っていましたが、その年齢になってみると、  
90歳を迎える利用者さんに「まだまだこれからよ」  
と励まされました。

第二の人生をこれからゆっくり考え、歩もうと  
思います。 これからも、よろしくお願ひします。

金沢 二美枝

俺が 還暦  
だったか？？



祝  
還暦